

平成25年度 大学の世界展開力強化事業 構想調書(案)  
【海外との戦略的高等教育連携支援】

[基本情報]

1. 大学名			
2. 機関番号			
3. 申請者 (大学の設置者)	ふりがな 氏名		所属・ 職名
4. 構想責任者	ふりがな 氏名		所属・ 職名
5. 構想名	【和文】※40文字程度		
	【英文】		
6. 取組学部等 名	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
	⑦		
	⑧		
	⑨		
	⑩		

7. 国内連携大学(申請大学を除く)		
	大学名	学部等名
①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		

(大学名: )

**8. 「受入」プログラムの対象学問分野等**

	大学名	学部等名	学問分野
①			ホスピタリティ&観光
②			工学
③			
④			
⑤			
⑥			
⑦			
⑧			
⑨			
⑩			

**9. 想定される「派遣」相手先**

	国名	大学名	学問分野
①	マレーシア		農業
②	インドネシア		ホスピタリティ&観光
③			
④			
⑤			
⑥			
⑦			
⑧			
⑨			
⑩			

**10. 本事業経費(単位:千円) ※千円未満は切り捨て**

年度(平成)	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	合計
事業規模						
内訳	補助金申請額					
	大学負担額					

**11. 本事業事務総括者部課の連絡先 ※採択結果の通知、ヒアリング等の事務連絡先となります。**

部課名	所在地		〒
責任者	ふりがな 氏名	所属・ 職名	
担当者	ふりがな 氏名	所属・ 職名	
	電話番号	緊急連絡先	
	E-mail(主)	E-mail(副)	

※原則として、当該機関事務局の担当部課とし、責任者は課長相当職、担当者は係長相当職とします。  
E-mail(主)は、できる限り係や課などで共有できるグループメールとし、(副)にも必ず別のメールアドレスを記入してください。

(大学名: )

**構想の目的・概要及び全般的事項** 【1ページ以内】

構想の目的・概要及び全般的事項の内容について、以下の①～④を記入してください。

**① 構想の目的・概要等**
**【構想の目的及び概要】**
**【養成する人材像】**
**【本構想で計画している交流学生数】**

	平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度	
	受入	派遣								
各年度の 構想全体の 受入及び 派遣 合計人数	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

(大学名 : )

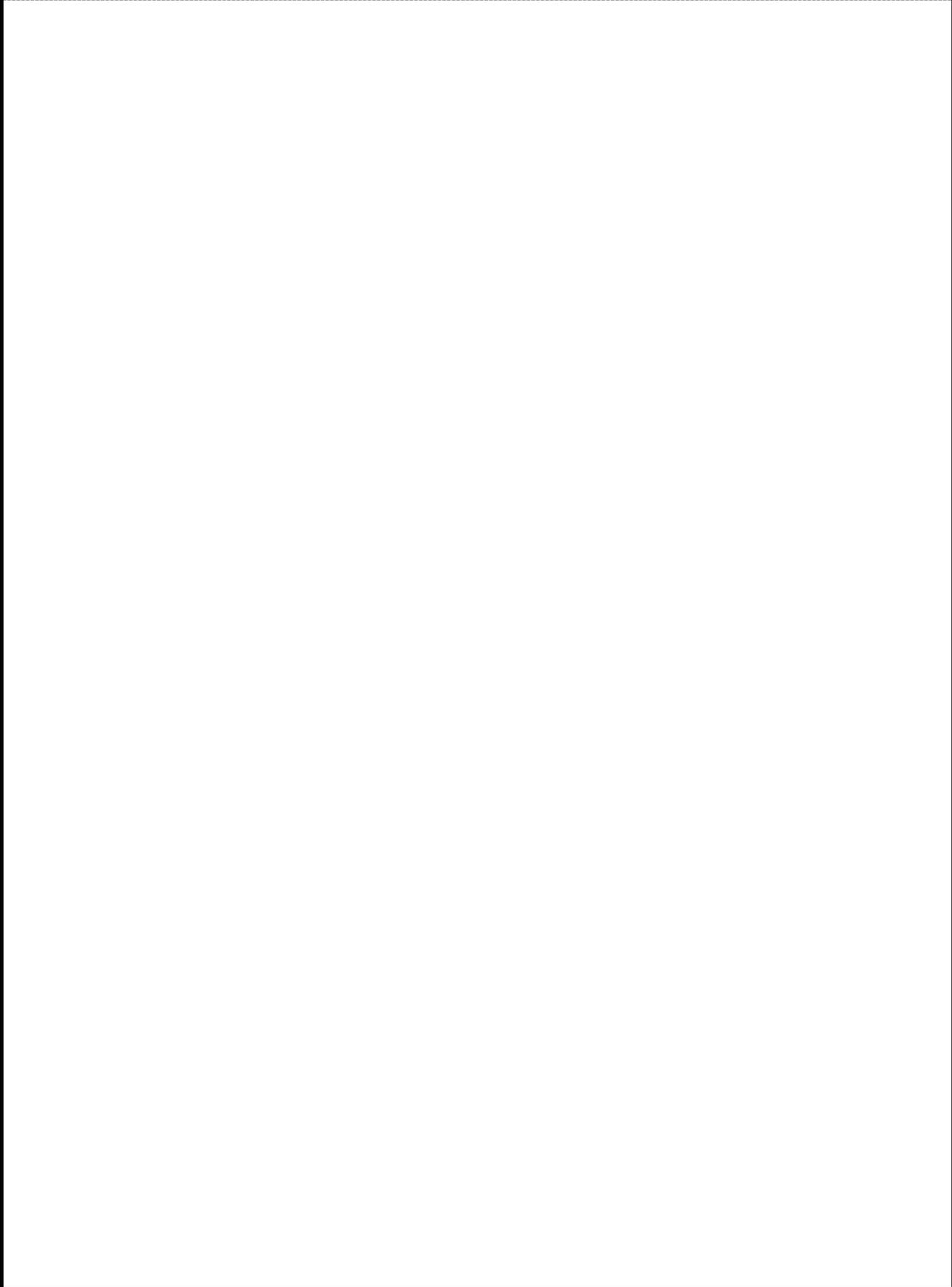
② 構想の概念図 【1ページ以内】

※国内の大学が複数連携して実施する取組の場合は、それぞれの大学の役割分担が分かる図を③に作成してください。

(大学名 : )

③ 国内大学の連携図（国内連携大学がある場合のみ） 【1ページ以内】

※国内の大学が複数連携して実施する取組の場合は、それぞれの大学の役割分担が分かる図を作成してください。



（大学名： ）

**④ 全般的事項 【3ページ以内】**

- 当該大学の教育理念や中長期的なビジョンに基づいて明確な人材像を設定し、AIMSプログラムに参加する大学との間で、単位の相互認定や成績管理等の質の保証を伴った日本人学生の海外留学及び外国人学生の受入を促進できるような付加価値の高い魅力的なプログラムとなっているか。
- 大学の国際化に向けた中長期的なビジョンのもとに設定された戦略的な目標等において、構想の意義及び方向性が明確に位置づけられているか。
- 英語による交流プログラムとなっているか。
- 学生の派遣・受入ともにAIMSプログラムの要件を満たす意欲的なプログラムを申請大学が単独で構築できているか。

(1) 受入

【実績・準備状況】

【計画内容】

(2) 派遣

【実績・準備状況】

【計画内容】

(大学名 : )

**質保証を伴った付加価値の高い魅力的な教育プログラムの提供** 【①～③合わせて3ページ以内】

交流プログラムの質の保証や付加価値を高めるための取組内容について、実績・準備状況を踏まえて、計画内容を具体的に記入してください。

**① 交流プログラムの質の保証について**

- 透明性、客観性の高い厳格な成績管理（コースワークを重視したカリキュラムの構成、GPAの導入や教員間の相互チェックなど）、学生が履修可能な上限単位数及び下限単位数の設定、明確なシラバスの活用等による学修課程と出口管理の厳格化に努め、単位の実質化を重視しているか。
- 交流プログラムを実施するにあたり、単位の相互認定（例えば、UMAPのUCTSの活用）や成績管理、学位授与に至るプロセスが明確になっているか。
- 国際公募による外国人教員の招聘や海外大学での教育経験又は国内大学で英語等による教育経験を有する日本人教員の配置、FD等による教員の資質向上など、質の高い教育が提供されるよう交流するプログラムの内容に応じた教育体制の充実が図られているか。

**(1) 受入****【実績・準備状況】****【計画内容】****(2) 派遣****【実績・準備状況】****【計画内容】****②相手大学（相手国）のニーズを踏まえた大学間交流の展開**

- 相手大学における単位制度（授業時間を含めた学習量や単位の換算方法等）、学生の履修順序、単位の相互認定の手続、アカデミックカレンダーの相違等について留意し、交流するプログラムの内容に応じたサポートの実施等により、学生の履修に支障がないよう配慮されているか。
- 各国の人材育成ニーズに合わせた教育の提供に留意したものとなっているか。

**【実績・準備状況】****【計画内容】**

（大学名： ）

### ③付加価値の高い魅力的な教育プログラムの提供

- 受入プログラムについて、基礎・専門科目などの授業科目に加え、産学連携による現場での就業体験（インターンシップ）、フィールドトリップなどを含む付加価値の高いプログラムとなっているか。
- 受入先の学生や地域住民との交流、文化、芸術活動などの多様な体験を通じ、学生の視野や可能性を広げるプログラムとなっているか。

【実績・準備状況】

【計画内容】

**外国人学生の受入及び日本人学生の派遣のための環境整備** 【①～③合わせて2ページ以内】

交流プログラムの実施に伴う受け入れる外国人学生及び派遣する日本人学生に対する生活や学修及び就職への支援やそのための環境整備について、①～③の内容を実績・準備状況を踏まえて、計画内容を具体的に記入してください。

**① 外国人学生の受入のための環境整備**

- 外国人学生の在籍管理のための適切な体制が整備されているか。
- 受け入れた外国人学生が学業に専念できるよう、履修指導、教育支援員・TA等の配置、学内外での諸手続き支援、カウンセリング、宿舎、学内各種資料の翻訳等のサポート体制の充実が図られているか。
- 単位認定可能な科目、履修体系・順序、単位の相互認定の手続、アカデミックカレンダーの相違等について、学生の履修に支障がないよう十分な情報提供を行う体制がとられているか。

【実績・準備状況】

【計画内容】

**② 日本人学生の派遣のための環境整備**

- 留学中の日本人学生が学業に専念できるとともに、帰国後の学業生活や就職活動等にも支障のないよう、留学中の日本人学生への必要な情報の提供やインターネット等を通じた相談体制の構築等がなされているか。
- 日本人学生に対して、海外への派遣前から帰国後にわたり、履修面・学習面・生活面にわたるサポート（履修指導、交流に関する情報の提供、相談サービスの実施等）が推進されているか。
- 単位認定可能な科目、履修体系・順序、単位の相互認定の手続、アカデミックカレンダーの相違等について、学生の履修に支障がないよう十分な情報提供を行う体制がとられているか。

【実績・準備状況】

【計画内容】

**③ 関係大学間の連絡体制の整備**

- 外国人学生及び日本人学生へのサポートが円滑及び適切になされるよう、関係大学間の十分な連絡・情報共有体制が整備されているか。
- 緊急時、災害時の対応のための留学中の日本人学生や受け入れた外国人学生をサポートするリスク管理への配慮が十分になされているか。
- 大学間交流の発展に向け、参加学生のOB会の立ち上げ等、卒業・修了後の継続的サポート体制の構築等が図られているか。

【実績・準備状況】

【計画内容】

(大学名 : )

**達成目標** 【①は1ページ以内、②、③はそれぞれ1ページ以内、④は国内連携大学数に応じたページ数、⑤は1ページ以内】  
本構想を実施することによって達成しようとする目標について、下記の点に留意し、①～⑤に具体的に記入してください。

**① 養成しようとするグローバル人材像について**

- 国民にとって分かりやすい具体的な目標が設定されているか。
- 本プログラムにおいて養成しようとするグローバル人材像が明確に設定されているか。
- アウトプットだけでなくアウトカムに関する具体的な目標が設定されているか。

(i) 構想全体の達成目標 (事業開始～平成29年度まで)

(ii) 中間評価までの達成目標 (事業開始～平成26年度まで)

**② 本構想における外国人学生の受入数の目標**

○ 本構想において外国人学生の受入数に関する目標が設定されているか。

現状（平成25年5月1日現在）※1

人

(i) 外国人学生数の達成目標

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
学士課程	人	人	人	人	人
構想全体の達成目標（事業開始～平成29年度まで）				0人（延べ数）	
中間評価までの達成目標（事業開始～平成26年度まで）				0人（延べ数）	

(ii) 目標を設定した考え方及び達成までのプロセス（構想全体、中間評価までの双方について）

※1 現状は、本構想の取組単位（学部・研究科等）における平成25年5月1日現在の人数を記入すること。

（大学名： ）

**③ 本構想における日本人学生の派遣数の目標**

○ 本構想において日本人学生の派遣数に関する目標が設定されているか。

現状（平成25年5月1日現在）※1

人

(i) 日本人学生数の達成目標

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
学士課程	0人	0人	0人	0人	0人
構想全体の達成目標（事業開始～平成29年度まで）				0人（延べ数）	
中間評価までの達成目標（事業開始～平成26年度まで）				0人（延べ数）	

(ii) 目標を設定した考え方及び達成までのプロセス（構想全体、中間評価までの双方について）

※1 現状は、本構想の取組単位（学部・研究科等）における平成25年5月1日現在の人数を記入すること。

（大学名： ）

④国内大学からの派遣学生数等

○ 本構想において日本人学生の派遣数に関する目標が設定されているか。

※学士課程の派遣学生数及び派遣期間を、下表に右のように示してください。

1

( i )申請大学

(大学名)			平成25年度		平成26年度				平成27年度				平成28年度				平成29年度				
(国名) 想定される 派遣先大学名	学問 分野	授業料 不徴収 (免除)	第 3 四 半 期	第 4 四 半 期	第 1 四 半 期	第 2 四 半 期	第 3 四 半 期	第 4 四 半 期													
1	ホスピタリティ&観光	有																			
2	農業	無																			
3																					
4																					
5																					
6																					
7																					
8																					
9																					
10																					

( ii )国内連携大学①

(大学名)			平成25年度		平成26年度				平成27年度				平成28年度				平成29年度				
(国名) 想定される 派遣先大学名	学問 分野	授業料 不徴収 (免除)	第 3 四 半 期	第 4 四 半 期	第 1 四 半 期	第 2 四 半 期	第 3 四 半 期	第 4 四 半 期													
1																					
2																					
3																					
4																					
5																					
6																					
7																					
8																					
9																					
10																					

(大学名: )

国内連携大学②

(大学名)			平成25年度		平成26年度				平成27年度				平成28年度				平成29年度				
(国名) 想定される 派遣先大学名	学問 分野	授業料 不徴収 (免除)	第 3 四 半 期	第 4 四 半 期	第 1 四 半 期	第 2 四 半 期	第 3 四 半 期	第 4 四 半 期													
1																					
2																					
3																					
4																					
5																					
6																					
7																					
8																					
9																					
10																					

<注意>

連携大学からの交流人数等交流プログラムに関するデータについては、毎年度ごとのフォローアップ活動や中間評価等において確認させて頂くので、適宜ご留意下さい。

(大学名: )

⑤ 本構想における英語コース及び科目数の目標

○ 本構想において、英語によるコース及び科目数に関する目標が設定されているか。

現状（平成25年5月1日現在）

科目

(i) 英語による授業の科目数の達成目標

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
英語による コース(※)数					
全授業科目数(A)	0科目	0科目	0科目	0科目	0科目
うち全体の英語に よる授業の科目数 (B)	科目	科目	科目	科目	科目
うちAIMSプログラム における授業科目数 (C) [単位数]	科目 [0単位]	科目 [0単位]	科目 [0単位]	科目 [0単位]	科目 [0単位]
割合(A/B)	%	%	%	%	%
割合(B/C)	%	%	%	%	%

※コースとは、卒業要件単位に算入できる一定の科目群を体系的にまとめたものをいう。

(ii) 目標を設定した考え方及び達成までのプロセス（構想全体、中間評価までの双方について）

**⑥ 日本人・外国人学生に修得させる具体的能力（語学力や専門的知識）について**

○ 本プログラムに参加する日本人・外国人学生に修得させる具体的能力（語学力や専門的知識）が設定されているか。

(i) 構想全体の達成目標（事業開始～平成29年度まで）

(ii) 中間評価までの達成目標（事業開始～平成26年度まで）

（大学名： ）

**交流プログラムを実施する相手大学について** 【ページ数については、相手大学1校につき1ページ以内とし、相手大学の数に応じたページ数以内】

交流プログラムを実施する相手大学に関して、以下の①～②を具体的に分かりやすく記入してください。また、想定される派遣先大学との国際交流協定締結文書等がある場合、様式 10 に記入の上、写しを添付してください。

**① 交流実績（交流の背景）**

- 交流プログラムを実施する相手大学との交流実績を有しているか。

**② 交流に向けた準備状況**

- 交流プログラムの実施に向けた相手大学との準備（大学ごとの役割・実施体制の明確化など）が十分なされているか。

**本事業の実施計画** 【①は1ページ以内、②、③は合わせて2ページ以内】

構想全体の「①年度別実施計画」、「②財政支援期間終了後の事業展開」及び「③財政支援期間終了後の事業展開に向けた資金計画」について、具体的に分かりやすく記入してください。

**① 年度別実施計画****【平成25年度（申請時の準備状況も記載）】****【平成26年度】****【平成27年度】****【平成28年度】****【平成29年度】**

② 財政支援期間終了後の事業展開

③ 財政支援期間終了後の事業展開に向けた資金計画

【物品費】

【人件費・謝金】

【旅費】

【その他】

支援期間における各経費の明細【年度ごとに1ページ】					
○ 資金計画が、経費や規模の面で合理的であるか。					
					(単位:千円)
補助金申請ができる経費は、当該構想の遂行に必要な経費であり、本事業の目的である大学の世界 展開力強化のための用途に限定されます。(平成25年度大学の世界展開力強化事業公募要領参照。) 【年度ごとに1ページ】					
記載例 : 教材印刷費 ○○○千円 ○○部 × @○○○円 : 謝金 ○○○千円 ○○人 × @○○○円					
<平成25年度>	経費区分	補助金申請額 (①)	大学負担額 (②)	事業規模 (①+②)	該当ページ
[物品費]					
①設備備品費					
.					
.					
②消耗品費					
.					
.					
[人件費・謝金]					
①人件費					
.					
.					
②謝金					
.					
.					
[旅費]					
.					
.					
.					
.					
.					
.					
.					
[その他]					
①外注費					
.					
.					
②印刷製本費					
.					
.					
③会議費					
.					
.					
④通信運搬費					
.					
.					
⑤光熱水料					
.					
.					
⑥その他(諸経費)					
.					
.					
.					
平成25年度		合計			

(大学名: )

(前ページの続き)

(単位:千円)

＜平成26年度＞	経費区分	補助金申請額 (①)	大学負担額 (②)	事業規模 (①+②)	該当ページ
	[物品費]				
	①設備備品費				
	・				
	・				
	②消耗品費				
	・				
	・				
	[人件費・謝金]				
	①人件費				
	・				
	・				
	②謝金				
	・				
	・				
	[旅費]				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	[その他]				
	①外注費				
	・				
	・				
	②印刷製本費				
	・				
	・				
	③会議費				
	・				
	・				
	④通信運搬費				
	・				
	・				
	⑤光熱水料				
	・				
	・				
	⑥その他(諸経費)				
	・				
	・				
	・				
平成26年度	合計				

(大学名: )

(前ページの続き)

(単位:千円)

<平成27年度> 経費区分	補助金申請額 (①)	大学負担額 (②)	事業規模 (①+②)	該当ページ
[物品費]				
①設備備品費				
.				
.				
②消耗品費				
.				
.				
.				
[人件費・謝金]				
①人件費				
.				
.				
②謝金				
.				
.				
.				
[旅費]				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
[その他]				
①外注費				
.				
.				
②印刷製本費				
.				
.				
③会議費				
.				
.				
④通信運搬費				
.				
.				
⑤光熱水料				
.				
.				
⑥その他(諸経費)				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
.				

(前ページの続き)

(単位:千円)

<平成28年度> 経費区分	補助金申請額 (①)	大学負担額 (②)	事業規模 (①+②)	該当ページ	
[物品費] ①設備備品費 ・ ・ ・ ②消耗品費 ・ ・ ・					
[人件費・謝金] ①人件費 ・ ・ ・ ②謝金 ・ ・ ・					
[旅費] ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・					
[その他] ①外注費 ・ ・ ・ ②印刷製本費 ・ ・ ・ ③会議費 ・ ・ ・ ④通信運搬費 ・ ・ ・ ⑤光熱水料 ・ ・ ・ ⑥その他(諸経費) ・ ・ ・					
平成28年度	合計				

(大学名: )

(前ページの続き)

(単位:千円)

<平成29年度>	経費区分	補助金申請額 (①)	大学負担額 (②)	事業規模 (①+②)	該当ページ
	[物品費]				
	①設備備品費				
	・				
	・				
	②消耗品費				
	・				
	・				
	[人件費・謝金]				
	①人件費				
	・				
	・				
	②謝金				
	・				
	・				
	[旅費]				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	[その他]				
	①外注費				
	・				
	・				
	②印刷製本費				
	・				
	・				
	③会議費				
	・				
	・				
	④通信運搬費				
	・				
	・				
	⑤光熱水料				
	・				
	・				
	⑥その他(諸経費)				
	・				
	・				
	・				
平成29年度	合計				

(大学名: )

**構想の実施に伴う大学の国際化と情報の公開、成果の普及** 【①～③合わせて2ページ以内】

構想の実施に伴う大学の国際化と情報公開、成果の普及について、①～④の内容を実績・準備状況を踏まえて、計画内容を具体的に記入してください。

**① 構想の実施、達成・進捗状況の評価体制**

- 構想の実施、達成状況を評価し、改善を図るための評価体制が整備されているか。

【実績・準備状況】

【計画内容】

**② 事務体制の強化**

- 本事業の取組に対応するため、事務局機能を強化するなど構想をサポートする全学的体制の充実（交流にかかる業務が一部の教職員に偏らないよう、窓口となる担当部署を設定し、教職員間の情報共有、意思疎通や各種問い合わせへの対応、プログラム運営上の関係者間の調整など）が図られているか。
- 招聘した外国人教員や外国人学生とのコミュニケーションを図れる程度の能力を有する事務職員を配置できるよう、事務職員の能力向上を推進しているか。

【実績・準備状況】

【計画内容】

**③ 国内外への情報提供の方法・体制**

- 質を保証する観点や学生の適切な判断・選択に資する観点から、取組の実施状況等や交流プログラムの詳細など必要な情報について、外国語による提供も含め、積極的に情報の発信を行うものとなっているか。
- 中央教育審議会大学分科会国際的な大学評価活動に関するワーキンググループ「国際的な大学評価活動の展開状況や我が国の大学に関する情報の海外発信の観点から公表が望まれる項目の例」（平成22年6月）が掲げる、国際的な活動に特に重点を置く大学において公表が望まれる項目について、大学のグローバル化に向けた戦略的な国内外への教育情報の発信を行うものとなっているか。
- 取組を通じて得られた成果について、ホームページ等による公表の他、報告会、発表会等の報告の場を設けて、各大学や学生、産業界等への普及を図るものとなっているか。

【実績・準備状況】

【計画内容】

**大学の世界展開に向けた取組の実績** 【国内の大学1校につき2ページ以内】

大学におけるこれまでの世界展開に向けた取組の実績について、本構想との関連性を踏まえつつ下記の点にも言及して具体的に分かりやすく記入するとともに、記入した内容の裏付けとなる資料を様式11④に添付してください。

大学名	
-----	--

- 英語による授業の実施や留学生との交流、海外の大学と連携して学位取得を目指すプログラムの開発等、国際的な教育環境の構築に取り組んできた実績を有しているか。
- 海外の有力大学が参加する国際的なネットワークへの参加や、単なる枠組の形成にとどまらない、実質的な交流が継続して行われてきた実績を有しているか。
- 国際化に対応するため、外国人教員や国際的な教育研究の実績を有する日本人教員の採用や、FD等による教員の資質向上に取り組んできた実績を有しているか。
- 英語のできる国際担当職員の配置、語学等に関する職員の研修プログラムなど、事務体制の国際化に取り組んできた実績を有しているか。
- 厳格な成績管理、学生が履修可能な上限単位数の設定、明確なシラバスの活用等による学修課程と出口管理の厳格化など、単位の実質化に取り組んできた実績を有しているか。

(大学名 : )



**参考データ【国内の大学1校につき、①～③は枠内に記入、④及び⑤はそれぞれ2ページ以内】**

※人数等の算定にあたっては、原則として「学校基本調査」による定義に基づいて記入してください。

- ①大学全体における出身国別の留学生の受入総数(平成25年5月1日現在)、及び各出身国(地域)別の平成24年度の留学生受入人数

順位	出身国(地域)	受入総数	平成24年度受入数
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
その他			
留学生の受入人数の合計		0	0
全学生数			/
留学生比率			

※上位10カ国以外の国からの留学生受入実績については、「その他」欄の「出身国(地域)」に国名(地域名)を記入し(該当の国名(地域名)が多い場合は主な国名(地域名)を記入後に「等」を付けてください。)、その受入人数の合計を「受入人数」欄に記入してください。

※ここでの「留学生」とは、「出入国管理及び難民認定法」別表1に定める「留学」の在留資格を有する者に限りません。

※平成24年度の留学生受入人数は、平成24年4月1日～平成25年3月31日の出身国(地域)別受入人数を記入してください。

※ここでの「全学生数」とは、日本人学生及び外国人留学生を含めた大学全体の平成25年5月1日現在の在籍数を記入してください。

- ②平成24年度中に留学した日本人学生数

順位	派遣先大学名	派遣先大学の所在国(地域)	派遣人数
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
その他			
派遣先大学合計校数	0		/
派遣人数の合計			
			0

※「その他」の各欄には上位10校以外に派遣した「学校数」「国数」「人数」のそれぞれの合計を記入してください。

※「派遣先大学数」の右横のセルには派遣先大学の数を記入してください。

※教育又は研究等を目的として、平成24年度中(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)に海外の大学等(海外に所在する日本の大学等の分校は除く。)に留学した日本人学生について記入してください。なお、平成24年3月31日以前から継続して留学している者は含みません。

(記入大学: )

(大学名: )

③大学全体における外国人教員数(兼務者を含む)(平成25年5月1日現在)

全教員数	外国人教員数						外国人教員の比率
	教授	准教授	講師	助教	助手	合計	
						0	
うち専任教員 (本務者)数						0	

※「全教員数」には大学に在籍する日本人教員も含めた全教員数を記入してください。

※「うち専任教員(本務者)数」には教授、准教授、講師、助教、助手の専任の外国人教員の数をそれぞれ記入してください。

(記入大学: )

(大学名: )

④「様式9」で記入した実績を示すデータや資料等を取りまとめ、出典を付して記入又は貼付してください。【2ページ以内】

A large empty rectangular box with a black border, intended for the user to enter data or attach documents as instructed in the text above.

(記入大学: )

(大学名: )

⑤他の公的資金との重複状況【2ページ以内】

当該申請大学において、今回申請している内容以外に、文部科学省が行っている国際化拠点整備事業費補助金、大学改革推進等補助金、研究拠点形成費等補助金等、又は独立行政法人日本学術振興会が行っている国際交流事業の補助金等による経費措置を受けている取組がある場合、また、現在申請を予定している取組(博士課程教育リーディングプログラム等)がある場合は、それらの事業名称及び取組内容について、1事業につき3～4行程度を目安に記入してください。その中で、今回の申請内容と類似しているものがある場合には、その相違点についても言及してください。

また、独立行政法人日本学生支援機構平成25年度留学生交流支援制度(短期派遣)に採択されたプログラムがある場合には、本事業の申請内容との関連について必ず明記してください。

(記入大学: )

(大学名: )